

# ふるさと河内

発行所  
南河内  
むらづくり塾

## 新年のごあいさつ

むらづくり推進協議会

会長 山本孝夫



謹賀新年  
ご家族おそろいで輝かしい希望に満ちた新春を迎えられまして、心からお慶び申し上げます。

南河内むらづくり塾の活動も今年で二十三年目を迎え、「菜の花フェスタ」は十九回目を迎えるようとしております。  
昨年度は三代目塾長の岡田知之さんが退任されました。長い間朝市のお世話、イベントの企画、準備及び朝市店舗では開店当初から建設に係られ、イベントの看板、店舗の補修、店舗周りの草刈り等、長く会員をまとめて頂きました。長い間献身的

## 謹賀新年

- 岩国市長 福田良彦
- 岩国農林事務所長 岡田浩二
- 山口東農業協同組合 代表理事組合長 神尾透
- 錦川森林組合 代表理事組合長 森重和美

なご協力にお礼を申し上げます。  
二十八年度より塾長は山下博さん副塾長を森重典夫さんで運営されています。二十九年度も宜しくお願い致します。

むらづくり推進協議会長をおおせつかりまして十年が経過いたしました。その間の南河内は高齢化率四十六、五%が岩国市の中で七番目（本庁・総合支所二十二地区）で南河内の人口も千四百名（昨年十二月一日現在千三百八十八人）を割りました。過疎化の波がじわじわとこの地域に押し寄せています。  
昨年度の五月南河内地区の二十歳以上男女千七十七名の方に

## 新年のごあいさつ

南河内むらづくり塾

塾長 山下博



あけましておめでとうございます。  
昨年の流行語大賞は「神ってる」。これは広島カープの若手鈴木外野手（年俸四千万増の六千万！）の活躍によるものですが、同時に「カープ女子」を発祥とする「〇〇女子」も盛んに使われました。  
「地域の活性化」をコンセプトとするむらづくり塾において

アンケートと調査をお願い致しました。九百二十二名の回答を頂きました。（回収率八十五、六%）皆さん素晴らしい回収率で御協力頂き有難うございました。アンケート結果は各家庭にお送りいたしました。この結果を踏まえて一歩づつ出来ることから取り組んで参りたいと思っております。

この紙面をお借りして一昨年度より実施して参りました防災訓練では十一月一日南河内運動広場に二百名の方にご参加いただきました。昨年度は十一月六日角、保木地区を重点的に中学校で開催いたしました。昨年度も百六十人のご参加を頂き講演会、非常食の試食会、はしご車搭乗体験、毛布、トレーナーで担架の作り方及び搬送訓練と共々良い体験と成りました。ご協力に感謝申し上げます。  
これからも、諸先輩が築かれたビジョンに添えるよう心を入れて取り組むたいと思っております。地域の皆さんを始め関係各位の尚一層のご支援ご指導を賜りま

も、その主要行事である「ふれあい広場」や「ふれあいイベント」の運営に、塾長として初めて携わったところですが、ここでも女性の力が印象に残りました。  
また、「河内グランマ」の菓子製造業は、メニュー・販売額とも順調の伸びを示し、南河内の活力を感じさせる活動へと進展するなど、まさに世は「女子

## お蔭様で二周年

ありがとうございます  
今年もよろしくお願いたします

## 河内グランマ

住民が集まり、交流して元気になる場所「グランマ・カフェ」の開設です。この大きな夢にすこしでも近づけるように西年の今年、部員同志助けあって翔んでいきたいです。

- 制作場所 農協二階
- 制作日 月・水・金・土曜
- 販売所 JAふれあいスポット河内

（月・金曜）  
朝市（土・日曜）他



力」の感があります。  
一方、南河内における事業の基本はあくまでも農業であり、住みよい活力ある地域づくりにおいて重要な要素となるわけで、少は近い将来への不安材料となっており、平成二九年度に予定されている「JA山口東直売所」への対応を含め、その継続・改善の為にどのような対応が適当なのか地域の皆様のご意見も伺いながら、早急な方針の策定が望まれます。  
また一昨年来地域に新しい風を送ってくれている若者グループ（moss）や、空き家対策

のため昨年から取り組まれている「移住応援団」等、むらづくり塾だけでは対応しきれない事業との役割分担に関する仕組み作りも必要となります。  
塾生大募集。若いも若きも一緒になって、これまでの実績を土台として、一つでも二つでも活性化に有効な事業や仕組みを積み上げたいと思っております。よろしくお願致します。





### 河内ふれあい広場

## 開設二十二年記念イベントにふれて

十一月二十日(日)河内ふれあい広場にて「開設二十二年記念イベント」が開催されました。

年二回の地元の方が楽しみにされている秋のイベント。お天気にも恵まれ多くの方々にご来場いただきました。

地元在住者のみならず、「朝市」の常連様、生まれ育った親元に戻られる親子、南河内のお店のお客様など、日ごろ一同に会することのない方々が交流し、賑わいを見せ、恒例の「餅まき」で盛況のうちに終了しました。

私も二〇一四年七月に南河内に移住して、早二年半。パン屋での活動のみならず、南河内の村づくりに関わる方々と一緒にさせて頂く機会も多く、こうした地域のふれあいを大切にされた地元愛をもって活動されている皆様の意識の高さを肌で感じており、創設以来の活動が途絶えることなく二十二年も続けていることに改めて感動しました。

過疎化が進む里山において、行政と一体となって地域の為に活動いただく自治会連合会をはじめとする、数多くの諸団体と、「南河内村づくり塾」のような地元有志団体が、長きに渡り、たゆまぬ活動を縦糸と横糸のようにならねばならない南河内に、新しい地域づくりの可能性を感じています。

私たちのようなIUJターンの若手事業者もこういったイベントなどを通して地域の方々とより深く繋がりを、一緒になって住みよく、こころ豊かに暮らし過

ごせる地域を共に創りあげていきますよう、邁進して参りたいと思います。  
岩国市竹安 桑名宏樹



もちまき

### 菜の花フェスティバル

#### のご案内

平成二十九年度の菜の花フェスタを今年も椎尾八幡宮例祭に併せて、左記の通り開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

記

- 一、期日 四月九日(日)
- 一、会場 岩国西中学校広場
- 一、行事の内容
  - 新鮮野菜、加工品販売
  - パザール(焼そば、うどん、炊き込み御飯、餅、コーヒール、菓子等)
  - 餅まき、宝さがし
  - カラオケ大会
  - よさこい踊り
  - 菜の花ぞうすい無料配布
  - その他

### 農家レストラン

#### 月城丸(つきしろまる)

「自然環境を良くする仕事したい」と思い立って、今から七年前三十歳を前にして勤めていた広島市の会計事務所を退職して、自然環境を大切にする有機農業の道に進みました。

私が会計事務所勤めていた時、農業事業者の方の確定申告の書類作成に携わる機会がありました。そこで見たのが、概ね赤字を抱えておられることに大変なショックをうけました。

「これでは若い後継者が育たない」と感じました。そこで調べたところ、農業の所得向上の手段として「農業の

六次産業化」ということを知りました。

生産、加工、販売を一元的に行い収益を確保する方法を目指し、農業を始めようと考えました。初めの五年間は農業の収入だけでは生活出来ず、弁当工場や酒蔵所で働きながら将来の飲食店開業に備えてきました。

そうゆう経緯を経て今年の春から弁当製造を始めました。次いで十一月には、念願の「農家レストラン」開くことが出来ました。

今のところ農閑期の冬の間、金曜、土曜日の週二日(十一時~十五時)の営業ですが、皆さんに有機農産物の良さを知って頂いたり、農業と消費者を繋げていく場所として、このレストランを活用していきたいと思っております。

岩国市入野 中浜農園  
中浜良太郎



月城丸

### 編集後記

広島市で育ち、私が福山市から主人と南河内にUターンして五年が経ちました。あつと言う間でした。今の生活は引越してきた当初とはガラリと変わっています。

きっかけになったのは、近所の方から「河内グランマに入らない？」と声をかけてもらった事でした。その時は、何も分からない私が、輪の中にうまく入っていきけるかとても不安でしたが、河内グランマの皆さんがとても優しく親切に色々な事を教えてくれました。真剣に取り組む活動の中に、ユーモアと笑いが溢れる場でした。

お菓子作りや野菜の育て方、そして家庭料理の話など、私にとり、とても充実した時を過ごせる勉強の場兼憩いの場となりました。河内グランマの皆さんに本当に感謝しています。

もう一つは、朝市のデビューがあります。昨年の十一月、初めてサツマイモを朝市へもっていったとき、少々緊張していた私に「頑張りんさいよ」とその日の当番の方が声をかけてくれました。暖かい一言で緊張もほぐれ、とてもうれしかったです。

五年前何もないと思っていた南河内でしたが、実は人と人の触れ合いや、癒しがいつぱいの魅力的な里山でした。今年もどんな出会いがあるかわくわくとても楽しみです。

編集委員 村井美由紀

